

# あたたかいは、 土地柄と、 人柄です。

用水ひけひけ尾鈴の水を  
原に広漠果て知れず  
ひとたび水に潤えば

人も草木もよみがえり  
春悠々と鳥うたい  
秋金色の野と化せん

用水ひけひけ尾鈴の水を  
原に住まんと民が増す  
天のもと草伏す日  
木枯松にほゆる夜は  
思わずや君移住者の  
草創の感切なるを

『川南開拓史』より。

昭和四〇五年頃、川南小学校でよく歌われていたらしい。原野に挑む人たちの喜びや願いや決意のようなものが、沸き上がってくる。そんな開拓者魂が連綿と受け継がれ、いまもなおこの町に息づいている。沖繩から樺太まで日本中から夢を携えてやってきた人たちの…。挫折と挑戦を繰り返し「いつかきつと…」を成し遂げた人たちの…。

だからこの町には、包み込むような不思議なあたたかい空気が流れているのかもしれない。あたたかいは、土地柄と人柄です。



●川南駅を愛する会